

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	曜日	時限	授業時間	定員
ボランティア論	月	3	13:10~14:40	10名程度
生きがい論	火	3	13:10~14:40	10名程度
語りの技法	火	5	16:30~18:00	5名まで
文学(オンライン)	木	2	10:50~12:20	10名程度
Environmental Issues	木	5	16:30~18:00	10名程度
演劇論 I	金	1	9:10~10:40	10名程度

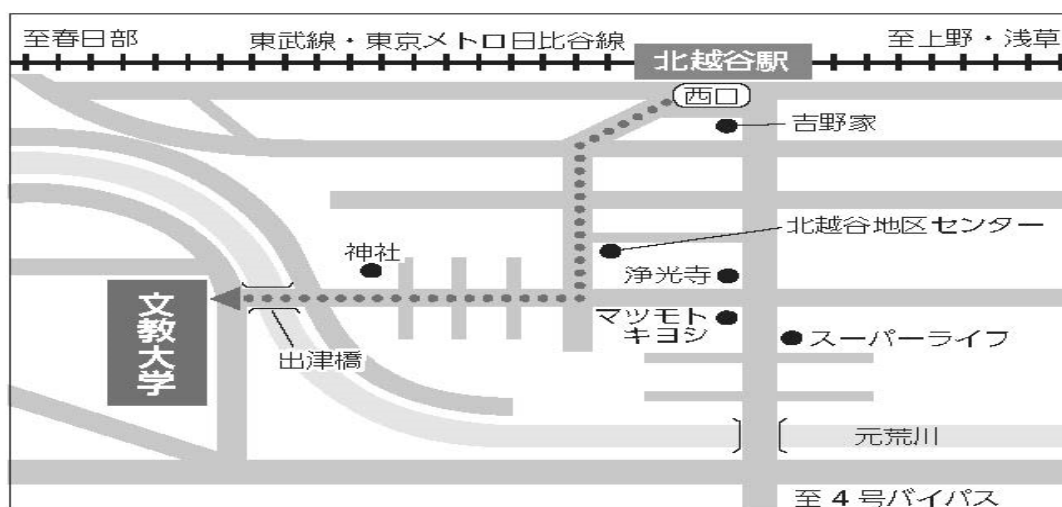
- 授業の曜日・時限等は現時点での予定につき変更になる場合があります。ご了承ください。
- 各科目とも授業は15回の予定です。
- 授業は、9月15日(木)から開始します。
- 対面授業を基本としている中であっても、オンラインのみ、または対面とオンラインを併用して進める科目もあります。また授業に関する連絡(資料の配布、課題のお知らせ・提出等)をWeb配信で行う場合もありますのでインターネットを利用できる環境が必要となります。
- オンライン授業は、時間割通りの時間にZoomで参加、または時間は自由だが視聴期間が限られる録画配信などがあります。いずれの場合も大学ではなくご自宅等でパソコンやタブレット等の端末を使いインターネットに接続して受講いただきます。本学からの機材の貸与はございません。

(2) 場所

文教大学 越谷キャンパス (所在地: 埼玉県越谷市南荻島 3337)

※ 東武スカイツリーライン・東京メトロ日比谷線直通 北越谷駅西口下車 徒歩約10分。

※ 駐車できるスペースがありませんので、お車・バイク以外の交通手段をご利用ください。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき 10,000 円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。（書名、購入方法等は別途ご案内します）

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和4年8月19日（金）必着**
- (2) 申込み先
文教大学 地域連携センター
 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島 3337
 FAX：048-974-8878 E-mail：kshougai@stf.bunkyo.ac.jp
 URL：<https://shougai.bunkyo.ac.jp/>
- (3) 申込み方法
郵送・FAX・E-mailのいずれかの方法で「シニアアカデミー受講申込」と明記し、下記の事項をもれなく記入の上、お申込みください。
 - ① 郵便番号、住所
 - ② 氏名、ふりがな
 - ③ 生年月日
 - ④ 年齢(令和4年4月1日現在)
 - ⑤ 性別（任意）
 - ⑥ 電話番号・携帯電話番号（お持ちの方）
 - ⑦ E-mail アドレス（お持ちの方）
 - ⑧ 受講希望科目(年間10科目以内)

※ 電話での受講申込は受付けておりません。

- (4) 選抜方法
 定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。
 受講の可否については、8月24日(水)に申込み者全員に郵送でご連絡いたします。
- (5) 問い合わせ先
 文教大学 地域連携センター
 TEL：048-974-8811(代表、地域連携センターとご指名ください。)
 ファクシマール：0120-160-449（固定電話のみ対応）
- (6) その他
 - コロナウィルス感染症対策のため、地域の感染拡大状況によっては、受講生の受け入れを中止または受講方法を変更する場合があります。
 - 対面で受講の場合、本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。
 - 申込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料は返金することができませんので、あらかじめご了承ください。
 - 9月13日(火)午後にオリエンテーションを予定しております。詳細は受講確定後にご案内いたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

※ 現時点での予定につき、担当教員や一部講義内容が変更になることがあります。

ボランティア論	<p>現代社会におけるボランティアは、災害ボランティアや福祉ボランティアといった社会的課題の克服をサポートする活動から、スポーツや音楽などの各種イベントを支えるボランティア、地域再生といった「まちづくり」を支えるボランティアまで多岐に及んでいる。この授業では、さまざまな場面でのボランティア活動事例を教材としながら、現代社会における活動の意味を考える。その動機や活動の本質はどこに見いだせるのだろうか。授業では、理論的側面からのアプローチだけではなく、実際に活動を体験・実習しながら、ボランティア活動の本質に迫ることを目的としている。そうした経験を踏まえて、活動する主体（送り手）と客体（受けて）のそれぞれの立場を考えながらボランティアを考察する。</p>
生きがい論	<p>「生きがい」は何かと問われて戸惑う人も多い。「ある」という人々でもその内容はしばしば異なる。本講義では「生きがい」とは何かを幾つかの視点から捉え、私たちが生き、生活する中で「生きがい」はどのように位置づけられるかを検討する。</p>
語りの技法	<p>教師にとって、児童・生徒・他の教員とのコミュニケーションとは何か？ことばの力を考え、実践するいわば”レッスン”の場である。教育実践の土台は一方では「科学」によって形成される。しかし教育現場は予測を超えたまさにアドリブの世界。実践はからだの「動き」と「所作」によって決まる。愛と情熱では優れた教育実践はできないが、理論だけでもダメであろう。その双方をつなぐための授業である。その意味からも「からだ」と「ことば」は同一のものであることを実感してもらいたい。</p>
文学 (オンライン（録画配信）)	<p>文学の授業では、近現代日本の代表的な文学作品について文学史・作品の読みの両方からアプローチしていく。近現代日本文学においては、写実主義・自然主義・プロレタリア文学など、様々な主義主張が存在した。</p> <p>まず、この様々な主義主張を理解し、一つの作品を読むだけでは知り得ることの出来ない近代日本文学史と、その中で「私」、というものがどのように描かれたのか、その描かれ方を学んでいく。</p> <p>次に、作品に描かれる「私」について考えてもらう。作品の読みに関しては多様性を重視し、高校までの教科書教材としての読みとの比較なども行いたい。</p> <p>最後に、現代の文学における「私」の描かれ方を考えたい。</p> <p>※シニア生の方にも毎回アクションペーパーの提出をお願いします。</p>
Environmental Issues	<p>Students will consider environmental problems from the point of view or ethics as well as studying the damage environmental problems cause our society and our globe. Students will develop their basic ways of thinking through research in order to consider what actions should be taken to protect the environment. Students will study the theoretical side of nature and human relations, natural destruction and man-made pollution and measures that should be taken. Students will research concrete example of environmental problems and offer potential solutions.</p> <p>環境問題に対して倫理的観点から考察し、環境に関する行動の根拠となる基礎を身に付けることを目的とする。自然と人間の関係、自然破壊や汚染、およびその対策に関して、理論的側面を押さえつつ、実践的にも学んでいく。人間の利便性の追求によって引き起こされた自然破壊が、やがては人間の生活をも脅かすようになることを具体的な事例を交えつつ学ぶ。これらを通して、理系・文系という枠組みをこえて、環境問題を自分のことばで語ることを目指す。</p>
演劇論 I	<p>能とお伽草子の関係を紐解くことは、能の成立と受容を考える上で重要な課題である。能とお伽草子の関係に注目し、能が演劇としてどのような効果を発揮しているかについて考察を深めながら、能および演劇全般に対する分析的理解に必要な視野と能力を身につけることを目標とする。</p>